



ベトナム人実習生が作った揚げ春巻き。右下にある飾り付けは、人参とレモンの皮と玉ねぎで作られたベトナム国旗。

2月9日（土）、毎年恒例となった中国の「春節」・ベトナムの「テト」を祝う新年会が行なわれました！新年会では、中国人の皆さんは餃子を、ベトナム人の皆さんは春巻きを一生懸命手作りし、参加者に振舞いました。また、市内駅南町自治会の方々の協力を得て、もちつき体験も実施。日本文化を体験するとともに地域の日本人との交流を深めることも出来ました。当日は、旧暦新年会始まって以来の雪！大雪になるとの予報も出ていたので、一時は開催も危ぶまれましたが、実習生の皆さんは、日本で初めて見る雪に大喜び。カンボジア・インドネシア・タイ・中国・フィリピン・ベトナムと6ヶ国、総勢300名の実習生の皆さんが、国と国の垣根を越え、寒さも忘れて、笑顔で新年を祝い合いました。その熱気からは、計り知れないエネルギーが伝わってきました。また、この若いパワーが、日本の技術の習得に使われるのと同時に、実は日本社会の活性化や発展にも大いに貢献していることを肌で感じ、彼らと日本社会の架け橋としての「日本語指導」の重要性を再認識する好機ともなりました。

## あけましておめでとうございます



もちを持ってニッコリ。フィリピン人実習生の皆さん



雪ニモマケズ！ 大いに盛り上がったお年玉福引大会



もちつき体験コーナーも大盛況



自治会の方々との交流も深めました。写真中央左、首からタオルを掛けているのが自治会長さん

## 今月の実習生



今月の実習生は、旧正月を祝う会で好例となったお年玉福引で、1等賞の腕時計をゲットしたベトナム人実習生 PHAM THI KIM TAM (タムさん) です。タムさんは、春巻き作りのリーダーとして、放課後の話し合いや、当日の準備などに熱心に取り組んでくれた実習生の1人でした。

思わぬご褒美?に、本人もびっくり。大喜びでした。

わたしはタイです。2月9日セリターゴテトのパーティがありました。めがたくたんふりました。そしてこれを1#でこもをむかったです。でもわたしはごでごでけいをもらいましたから。こもたのしかったです。そのうでごでけいはほんてはすばらしてごでごでけいがないです。ごうもありがごごでました。

## あじけん流日本語授業

～ボールを活用した会話練習～

すきな食べ物は何ですか!?



ベトナムのラーメンが大好きです。



STEP 1 : 質問をしてから、ボールを誰かにパスします

STEP 2 : ボールをパスされた人が質問に答えます

今回は、ちょっとした工夫で、通常のパワーク形式の会話練習に変化を加え、学習者の活発な発話を引き出すことができる活動を紹介します。まず、学習者は円を描くように座ります。次に、学習者が全体に向けて質問し、その後ボールをパスします(STEP1)。パスを受けた実習生は、その質問に答えます (STEP2)。これをテンポ良く、繰り返していきます。

この活動のポイントは2つ。1つは座席の配置です。円を描くように座ることで、正面を向いて座っているときと違い、常にクラスメイトの顔が見えているので、相手に話しかけやすくなります。皆で円を囲むことで、一体感が生まれ、よりリラックスした気持ちで、会話練習に取り組むことも出来ます。

もう1つのポイントは、ボールの活用。質問者が、自分の問い掛けに答えて欲しい人をボールパスで選ぶので、ゲーム的な要素が加わり、発話に対するプレッシャーを軽減することが出来ます。また、自分達で自由に質問を考えて、質問の相手も自分達で指名できるので、学習者主体性の活動となり、積極的な取り組みが促進されることとなります。